

曇野市男女共同参画推進審議会 会議概要

1	会議名	第8回 安曇野市男女共同参画推進審議会（第5期）
2	日時	平成29年11月2日 午前9時30分から午前11時30分まで
3	会場	安曇野市役所 3階 共用会議室 305
4	出席者	大日向委員、田中委員、高嶋委員、望月委員、二木委員、小林（知）委員、秋山委員、青木委員、降旗委員、宮下委員、湯澤委員 （欠席委員）松村委員、清原委員、増田委員、小松委員、小林（栄）委員、小林（久）委員、三澤委員、田村委員
5	担当課出席者	堀内部長、高山課長、山口係長、塩原主査
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成29年11月3日

協 議 事 項 等

【会議事項】

- 1 開会
- 2 諮問式
- 3 会長あいさつ
- 4 協議事項
 - (1)第3次安曇野市男女共同参画計画の素案について
 - (2)今後の日程について
 - (3)その他
- 5 その他
- 6 閉会

【会議概要】

- 4 協議事項
 - (1)第3次安曇野市男女共同参画計画の素案について

【要旨・主な意見】

素案について事務局説明

事務局：修正点について説明

事務局：社会像について説明。事務局に寄せられた意見を踏まえて「こころ通い合う 男女共同参画社会 安曇野」を事務局から提案する。「こころ通い合う」とした点については、3つ理由があり、①人の気持ちや、行動の向こう側にあるもの。理解を深め、認めあい、支え合う、という意味を込めた。②市民アンケートの結果を踏まえ世代間の意識の相違や不公平感などが浮き彫りになった。アンケート結果を踏まえると、まずは「こころ通い合うこと」が大事だという意見にまとまった。③職員に分かりやすい行動指標としたいため。各課の推進していく方針を集約する概念を示すためである。男女共同参画社会という言葉を入れたのは、何の計画課かを明確にしたいためである。

会 長：質疑、ご意見はあるか。

委 員：事務局案が「やはりこのとおり」と思った。1次は「男女共同参画」がない。この言葉があることによって、目指すものがぐっとはっきりするので良いと思う。

委 員：基本的にこれで良い。目標がはっきりさせるのはよいと思う。

委 員：職員に分かりやすいものを示したことで、今後の事業の方針になるので良いと思う。具体的に示されたことで、市民にもすっと入っていくものになっている。

委 員：シンプルでよいと思う。

委 員：前回、前々回のときは、柔らかい言葉がよいという意見が出たが、今回は「男女共同参画社会」としたのは、先ほどの事務局説明を踏まえると妥当だと思う。

委 員：「男女共同参画」という文言が入った理由は理解できた。妥当だと思う。

委 員：時間をかけて検討したので、良いと思うが、漢字が多い。イメージがきついような印象がある。最初のところ通い合うは良いが重い印象がある。

委 員：事務局の意見は的を得ていて分かりやすいので良いと思う。

委 員：簡潔で分かりやすくて良いと思う。

会 長：強い反対は無いということではどうか。社会像として「男女共同参画社会」と示されていることから、女性活躍推進法も制定され、行政としても、男女共同参画の専門部署だけではなく、全ての課で女性を応援する方針で事業を展開するというを示したと解釈できた。

委 員：前回、「誰が見るか」と質問があった。一般の市民にはダイジェスト版が配布の予定とのことだが、まとめるのが大変そうだ。計画書の中のカットだが、人の解釈のしかただとは思うが、資料の重要性の格を下げってしまうようで、似つかわしくないように思う。

会 長：計画書案のイラストに対するご意見だが、これについてはどうか。

事務局：今の時点では、カットは仮に入っている。製本の時には、改めて検討していく。先ほど、男女共同参画は堅いという意見があり「柔らかさ」を重視して、出来るだけ堅さが出ないように意図していきたい。

委 員：2次計画は14か所カットがあったが、カットが格段に減っている印象がある。全く無くしてしまうと堅い印象になるので、このくらいが妥当か。

会 長：計画というものは、堅いものという認識される。カットがあることによって、少しそれが和らぐのではと思う。カットがそのまま掲載になるのではないと事務局の説明があったが、いかがか。現時点でこれだけのものを、専門家ではない行政職員が作ったということに、私は驚いているし、感謝している。専門とする会社が入って作ることが多いなかで、そういった作成方法で出来たものよりも、かなり柔らかいものになっている。しかし、カットが全くなく字だけのものになってしまうと、堅いものになってしまう、誰も読んでくれないものになってしまうのではないだろうか。その点は事務局へ任せる。

事務局：最終ページに、審議会の名簿が載るが、現時点の会員名簿を掲載することとしてよろしいか。

会 長：ほとんどの計画に審議会委員が掲載されているが、同様でよいか。

委 員：名簿が掲載されたからといって特に困ることはない。

会 長：反対の方はいらっしゃるか。そうでなければ掲載の方向で進めて行く。

一 同：(掲載で) 了解

会 長：他にご意見があるか。

委 員：数値目標で追加となった説明があったが、23年度の実績が載っていることは評価できる。経過の掲載はされてこなかったが、数値目標を意識することは大切なことであるし、数字を上げることを目指して頑張ることも重要。あくまで目標とし、すべきことを見失わないように注意していくことが重要だと思う。

会 長：目標に数字を掲げることは確かに重要である。しかし、目標だけを追って行って、本来すべきことができなかつたのでは困るということですね。

委 員：23年度を中間経過にした理由はなぜか。

事務局：第2次の計画には23年度の実績があるため、その数字を載せている。

委 員：計画が終わる年度は24年であるので、それに合わせて24年度で比較する方がよいのではないか。

事務局：29年度の実績は計画ができる来春になってしまうため、整合性を図った。

委 員：2次計画と3次計画と同じ考え方で掲載したらいかがか。

事務局：調べたうえで掲載方法を検討する。実績は将来的に第4次に29年度を載せる方向で進めたい。

委 員：農業委員会では、家族協定について、ただ数字を追い求めるのではなく、実質に伴った締結を推進したい。締結を進めるだけでなく、実質に伴った協定の締結を推進するという記載をして欲しい。

委 員：策定スケジュールについて質問したい。この予定で終わるのか。

(2) 今後の日程

事務局：「その他」の項目で説明を予定していた。審議会は昨年7月から開催し、アンケート内容について、またアンケート結果についても審議していただいていた。本日第8回で諮問をさせていただいき。急ぎ答申書としてまとめ、答申を受けたいと思っている。11月17日から議会が始まり、パブリックコメント実施の報告をする。パブリックコメントは12月6日～1月5日まで実施する予定。12月6日に広報が出るので、それに合わせて30日設けて募集をする。意見への意思決定の公表として、1月15日から、寄せられた意見に対する市の考えを公表していく。3月に、第9回審議会を開催し、計画策定の報告として、印刷製本されたものをご覧いただく。併せて、議会全員協議会において策定報告をする。3月をもって第2次計画期間が終わるので、総括・検証と、第3次計画のもと、各課がどういった方向で業務を進めるかをお示ししたい。新年度を迎えると、各課の体制が変わるので、新体制での部会を開催し、5～6月のうちに重点推進事業を審議していただきたいと思っている。委員型の任期は7月までということもあり、第3次計画の始動に向け意見をいただきたい。

委 員：施策は市民にとって生活に関わってくることであるので、計画を策定してから、施策を実践する体制づくりが大事と言える。

会 長：日本は国においても、立派な計画を策定しても、どの程度実践でき、国民に伝わり浸透しているかリサーチする機関がないことが残念。それは市町村にも言える。外国ではオンブズマンが専属にいて、必要なことをアドバイスしている。そのため、ヨーロッ

パでは、男女共同参画が進んでいる。日本は、オンブズマン制度が未発達であるため、その点が課題だと思う。

事務局：新年度になってから、各課から事業を進める方針を出し、来年度お示ししたいと考えている。いままでは計画を立てるための審議をしていただいたが、策定後は計画に基づく推進が出来ているかご意見をいただいでいく。

委員：この会には、そもそも設置条例があり、計画を審議し、計画に基づいた施策が出来ているかどうかは、また別の審議会が設けられると思っていたが、我々が審議していくものなのか。

事務局：安曇野市男女共同参画推進条例では、調査・審議のためにこの会が置かれている。計画のみならず、男女共同参画社会の形成の施策・計画の推進状況について全般的に意見をいただくこととなっているので、引き続きよろしくお願ひしたい。

会長：改めて審議会のすべきことを確認した。ほかに意見を。

委員：アンケートの内容を振り返って外国人の項目が追加となったが、外国人の発表会に参加したが、そういった方と少し会話できる時間があれば交流ができる。そういう場にできるだけ多く来場してもらうために参加しやすい場づくりが大切。男女共同参画と並行して外国人のことも取り組まなければならない。一つの課が多岐にわたる事業を行う役所的な部分を改善していかないといけない。

会長：市民を動かす役割も代表になっている者に必要とのお考えですね。

皆さんのご意見を基に、正・副会長と事務局とで答申書を作成することでよろしいか。

一同：了解

(3) その他

事務局：スケジュールとして、次回審議会開催は3月としたい。

一同：了解